農福連携活動からのユニバーサル農園への展開



社会福祉法人 光友会 業務執行理事 一杉好一

光友会について

藤沢・横浜・寒川に事業展開

• 創設:1977年5月

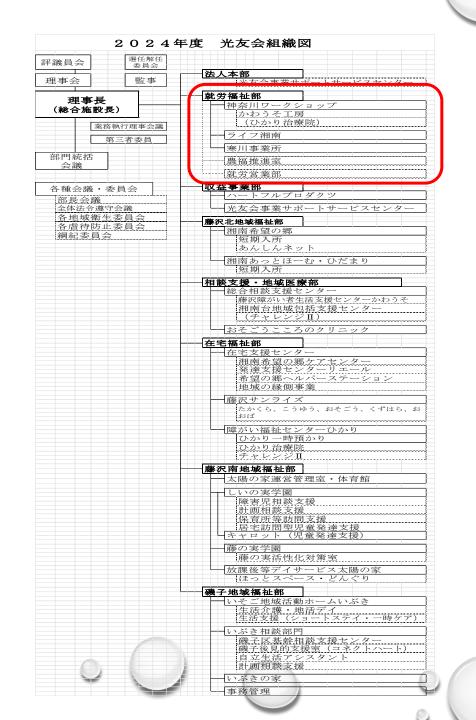
• 本部:神奈川県藤沢市獺郷

● 職員数: 452名 (非常勤含む,2025年9月1日現在)

• 事業部:6事業部(18拠点)

• 利用者延べ人員:約1,500名

※就労福祉部/収益事業部の連携による 農福連携を推進している。他の事業部 も本取組を活用し、利用者(身体・知 的・精神)サービスの充実につなげて いる。



農福連携の経歴書

年	光友会における農福の歴史	耕作面積㎡				
1977	光友会の創設(就労作業所)					
2011	農地取得(3反)、就労の場として活用開始	2,970				
~	かわうそ農園として野菜作りに活用					
2020	近隣大規模農園から業務受託(トマトパッケージ)					
2020	近隣大規模農園に施設外就労開始 (5名)					
2021	市場での農作業開始(施設外就労)					
2022	農地賃貸借契約開始(ワイン用ブドウの育成開始)	2,970				
2023	農地賃貸借契約増加	2,970				
2024	ユニバーサル農園開始(10月1日~) 合計	8,910				

2025年7月18日

作成:社会福祉法人 光友会 就労福祉部 部門統括 一杉好一

農福連関図(25年度版)

かながわ お土産品プロジェクト

県内醸造所(関東農政局)との連携 (第1ステップは委託醸造)

24年度「農福連関図

SDG S

目標2:飢餓を終わらせ、保障及び栄養改善を実

現し、持続可能な農業を促進する

・農林水産省 関東農政局農村振興部農村計画課

(神奈川県拠点) ・厚生労働省

関東信越厚生局健康福祉部健康福祉課

行政との連携

藤沢市農業委員会 藤沢市農業水産課

神奈川県 福祉子ども未来局 農政局

【生産】米・野菜・ブドウ (ワイン)・芋等

横浜ワイナリーとの連携 (ワイン委託醸造及び職員醸造研修)

農地運営への助言

農業放棄地 第2かわうそ農園(葡萄圃場:賃貸借)

・地域の小学校等への体験学習の場提供

・御所見病院リハビリ畑としての活用

【生産】野菜・ブドウ (ワイン)・芋等

小田原地域葡萄圃場との情報共有

農業従事者不足への協力(寒川事業所)

農協・農業委員・水利組合

地元神社との連携

JAさがみに加入

正会員2名・準会員4名

光友会

(農福推進室)

農業を通した地域貢献

ワイナリーによる地域活性化

(情報発信:HP/LFA/のうふく通信)

(北部地域活性化会議)

茅ヶ崎道の駅への出店 かわうそ農園(自前)

NPO法人ふるさとイベント協議

会など(葡萄事業)

農作業ボランテイア

地元

大規模農園

富山県社会福祉協議会 (講師派遣) 24年12月

農福連携への助言・就農支援協議会

地域活性化のための農福連携 懇話会の結成 (予定)

慶應大学

大学院政策・メディア研究科 地域活性化活動

大学の社会貢献活動との連携 生産物の販売協力

山梨大学

農を通じた連携

東海大学健康学部

健康マネジメント学科による アセスメント10月8日

学生による障がい者との交流推進

NPO法人もやいとの連携

24年度新規事業

株式会社ココルポートとの連携

販売

都市型ユニバーサル農園 (神奈川県委託事業) 10月1日職

地域の困窮者、引籠り

更生保護などへの活用

①地域住民等が自由に訪れることができる「居場所」としての役割

②障害者、高齢者生活困窮者、更生支援対象者など、社会参加に不安がある人が参加できる場としての

③色々な支援機関との連携「自治会・町内会、民生・児童委員、保護司、地域の縁側、法人内各事業所 によるネットワーク、障害者相談支援事業所、地域包括支援センター、更生保護関係機関、生活困窮者 自立相談支援機関、コミュニテイーソーシャルワーカー

下大槻団地活性化の取組み(出張販売) ㈱ショーナン

企業による社会貢献活動との連携

【工賃向上】

施設外就労:農園作業

軽作業:パッケージ・ラベル貼り

藤沢市場

(ライフ湘南:除草・畑整備作業)

(葡萄の苗木販売元)

地域生活支援拠点等の整備

農業を通じた新たな取組へ ~ ※光友会ユニバーサル農園の開設に向けて



農作業の取り組みの概要

耕作面積:自家農園: 2, 970m² (3反:2011年取得)

借入農地: 5, 9 4 0 m (6 反: 2022年7月~)

主要農機具:大型トラクター1台、耕運機1台、管理

機1台・草刈機1台

生産物:季節の野菜、米、ブドウ(ワイン用)、ゆず、小麦

主な販売先: 無人販売、他事業所、バザー、自家給食等

栽培方法:無農薬

(強み)農業技術者:農家出身職員2名、ワイン用ブドウ技術者1名、元農業アカデミー教諭1名など

(就労3事業所の取組)

①神奈川ワークショップは自家農園作業・耕作放棄地での田畑作業、大規模農家からの受託作業。

ユニバーサル農園事業開 始。(神奈川県県委託事業)

- ②ライフ湘南は受託業務 による農作業、大規模農 家にからの受託作業
- ③寒川事業所は施設外就 労による大規模農園での 農作業

以上の内容でノウフク連 携を行っている。

就労福祉部の農業従事者					
	利用者				
事業所	直接	間接	職員		
神奈川ワークショップ	6名	10名	3名 (兼務)		
ライフ湘南	5名	10名	3名 (兼務)		
寒川事業所	5名	5名	3名 (兼務)		
合計	16名	25名	9名		
※表の利用者直接は、農業従事者。間接は、容器へのラベル貼り を行う、軽作業従事者。					

発達障害を持つ利用者の田植えへの参加



【発達障害とは】

- •自閉症
- •注意欠如多動性障害(ADHD)
- •学習障害
- •その他これに類する脳機能の障害



【自閉症の特徴的な症状】

- •質問された言葉をそのまま返す (オウム返し)
- •こだわりが強く、いつも同じことをすることを好 む
- ・興味関心が限定されている
- •光や音に対する過敏さ・・・対応:イヤーマフ着 用等









【収穫の様子】

【仕込み作業】

【瓶詰作業】





ワイン用葡萄の収穫イベント(2025年8月23日)







かわうそ農園で【ユニバーサル農園】を開園中!



創り出していくことを目的としています。

神奈川県からの委託事業「令和 6年度都市型ユニバーサル農園 推進事業(モデル構築)」を光友会 が受託し実施しています。

ユニバーサル農園は、「仲間を つくり、植物と接して幸せになろ う」を合言葉に、地域に暮らすさ まざまな人たちが、同じ立場で植 物を通した多彩な活動を展開し、 一緒に楽しみ、豊かな地域社会を

地域のニーズ

①CSWの相談支援・対応

	区	分	令和5年度	令和4年度
相談件数/延べ相談件数			1,017件/17,601件	909 件/18, 902 件
	地区別	鵠沼	66 件	74 件
		六会	91 件	99 件
ă		湘南大庭	79 件	93 件
		村岡	61 件	38 件
		長後	120 件	113 件
		辻堂	90 件	71 件
内訳		善行	96 件	93 件
		御所見	45 件	49 件
- 1		片瀬	94 件	62 件
		明治	62 件	60 件
		遠藤	50 件	41 件
		藤沢	101 件	73 件
		湘南台	62 件	43 件
地域活動への参加支援			6, 068 回	4, 912 巨

専門家による相談実績

相談件数		24 件
	法律関係	7件
±□= (全□□	ひきこもり関係	13 件
相談種別	精神保健関係	3件
	生活設計関係	1件

※令和5年度藤沢市社会福祉協議会事業報告書から引用

ユニバーサル農園の作目表

ユニバーサル農園で育てている野菜の種類

- ・キャベツ(しずはま1号)
- ・キャベツ (YR 春系 305 号)
- ・ブロッコリー (緑嶺)
- ・ブロッコリー (グリーンキャノン)
- ・ミニハクサイ (タイニーシュシュ)
- ・ジャガイモ(デジマ)
- ・ジャガイモ (ニシユタカ)
- ・ニンジン(向陽二号)
- ・金時ニンジン(本紅金時)
- ・リーフレタス (晩描レッドファイヤー)
- ・ロメインレタス (テンディータ)
- ・ハクサイ (富風)

- ・ダイコン (三太郎)
- ・ミニ・カラーダイコン(紅三太)
- ・ミニ・カラーダイコン (アヤメっ娘)
- ・ミニ・カラーダイコン(長安青丸紅心)
- ・ビーツ (デトロイトダークレッド)
- ・コマツナ (春のセンバツ)
- ・ミズナ(京しぐれ)(紅法師)
- ・ホウレンソウ (ゴードン)
- ・シュンギク(中葉春菊)
- ・そらまめ(河内一寸そら豆)
- ・スナップエンドウ (つるあり)
- ・絹サヤエンドウ(つるあり)

編集後記 ユニバーサル農園にハマっています。なにせ農薬を使わない自然栽培なので、虫たちには天 国、人間には地獄の日々ですが、なぜか楽しく自然を感じ、心は穏やかです。 (Tachan)

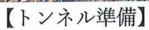




【作業指導】

【苗の定植】







【みんなでやれば簡単ネット】



【畑いっぱいの冬野菜】

恒例の稲刈りをしました!



毎年恒例のイベントとなっていますが、今回はユニバーサル農園の参加者さんにもお越しいただきました。神奈川県推奨米「はるみ」は大好評で、「天日干しはざかけ米」として手間をかけ、自然の力で育てたお米は昔ながらの美味しいお米に仕上がっています。今年は田んぼを増やし、約800kg(前年は500Kg)の収穫がありました。12月には自前の田畑で収穫したお米や野菜を使った料理をいただく収穫祭を行う予定です。



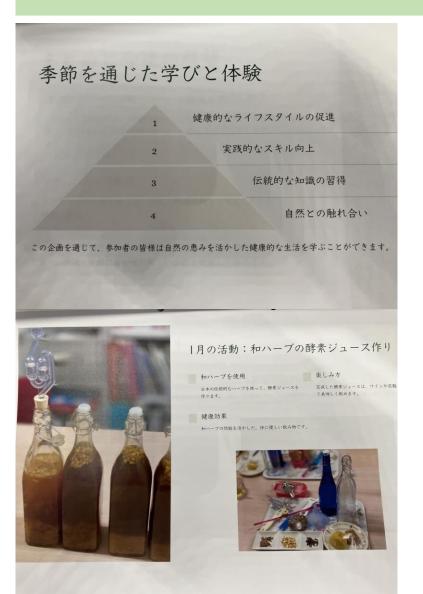


都市型ユニバーサル農園事業の当初の流れ

2024年度下期スタートへの対応

- 1. 神奈川県が主催する「都市型ユニバーサル農園推進事業(モデル構築事業)」にエントリーの呼びかけを県から受けた。(以前から、農福推進の取組みを県の担当部署と情報共有していたことがきっかけとなった)
- 2. 決定通知(神奈川県で初めて)を受け、年間実施事業計画等を整備、職員配置、器具等の確認を行い、不足の物(人材、器具等)を開園前に準備した。
- 3. 開園前に湘南エリアの自治体に対して広報活動を実施。地元CSWや民生委員・児童委員の会議体で取り組みを紹介。また、藤沢市障がい者支援課、共生社会推進室、市社協へも広報活動を実施した。
- 4. 法人が管理する田畑に対して、神奈川県が募集(当初、定員5名とした)をかけ、応募した方が来園。同時に法人ホームページに掲載し、募集を募る。
- 5.10月からの利用者は、最大4名(親子参加の方もあった)となった。週2回の受け入れを実施した。
- 6. 東海大学と連携し、アセスメント (WHOが開発) を実施した。
- 7. 2025年度も継続して、県から業務委託(補助金事業)を受けている。

農閑期のユニバーサル農園





東海大学健康学部によるアセスメント

調査票は主観的幸福感,生活の質を測定するツールとして,グローバルに広く活用されているWHOが開発したものです。以下の4領域などの観点から,受検者のQOLを測定します。

・身体的領域

日常生活動作/医薬品と医療への依存/活力と疲労/移動能力/痛みと不快/睡眠と休養/仕事の能力

・心理的領域

ボディ・イメージ/否定的感情/肯定的感情/自己評価/精神性・宗教・信念/思考・学習・記憶・集中力

・社会的関係

人間関係/社会的支え/性的活動

・環境領域

金銭関係/自由・安全と治安/健康と社会的ケア:利用のしやすさと質/居住環境/新しい情報・技術の獲得の機会/余暇活動への参加と機会/生活圏の環境/交通手段

都市型ユニバーサル農園推進事業(価値検証事業)実施報告書より

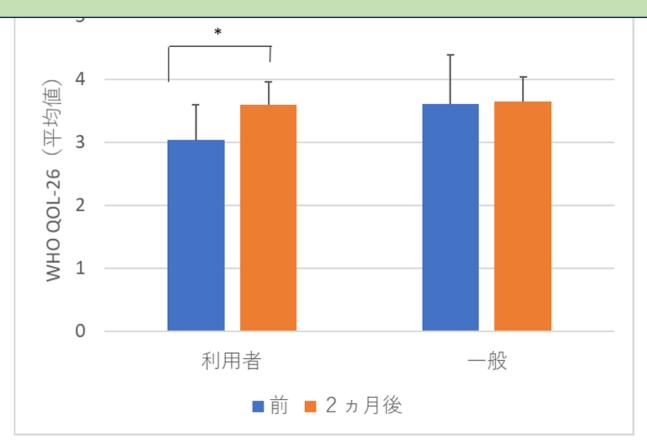


図7.WHO-QOL26による主観的幸福感、生活の質の評価(利用者と一般の前後比較) Mean±SD. *: p < 0.05.

資料出所:東海大学健康学部健康マネジメント学科(神奈川県委託事業)

ユニバーサル農園推進事業(価値検証事業)総括から

都市型ユニバーサル農園事業の価値を検証する目的で本研究を行った。研究期間が 短かかったため、 対象者が19名と少なく十分な検証は行えていないのが現状である。 睡眠状態およびPOMS2による心理 状態の評価では大きな変化は認められなかった。WHO QOL-26の評価では、福祉事業所利用者は一般 参加者と比較しQOLが低い傾向にある。一般参加者では、前と2ヶ月後で差は認められなかったが、利 用者では、2ヶ月後のQOL平均値が前と比較して有意に高い値であり、農園活動を行う事でQOL向上 につながっている事が示唆された(図7)特に、身体領域(図8)・心理領域(図9)においては、 **向上する傾向にあった。** 一方、ソーシャル・キャピタルの調査結果をみると、本調査の対象者は、認 知型と 構造型のいずれもつながりが弱く、地域社会へのむすびつきが限定的であることを認 められた。 構造型ソーシャル・キャピタルは、役割や規則等によって提供される社会 的組織であり、認知型ソー シャル・キャピタルとは相互補完的な関係にある。本研究 において構造型ソーシャル・キャピタルの 要素が増えることで、認知型ソーシャル・ キャピタルが強化される可能性があると考えられる。この 点は、ユニバーサル農園事 業において、重要な視点を提供すると考えられる。 今後、研究対象者を増 やす事により精緻なデータが得られる可能性がある。また研 究参加者ではなくとも、本農園活動に 様々な属性の参加者を増やす事により、利用者 への刺激、新たな交流等、心理面・社会面での向上に つながると考えられる。また他 属性の参加者により、障がい者理解、他者への理解や多様な価値観を 深めることがで きる場となる事が考えられる。 今後、対象者数を増やし、学会発表・論文投稿を行う 予定である。

ジャガイモ堀り体験イベント (2025年6月28日)







ジャガイモ収穫体験イベントアンケート (神奈川県集計)

No.	申込日時	どこで知ったか	お住まい	満足・不満足	ユニバーサル農園 への参加希望	ユニバーサル農園へのご意見	収穫体験のご意見・ご感想
1	2025/6/28 15:32	知人からの紹介	藤沢市以外(県内)	とても満足	不定期でタイミング が合えば参加したい		500円の収穫体験で、熱中症対策での経口補水液。収穫後にはアイスまで頂きました。 光友会の利用者の方々にもお手伝い頂いて、沢山のジャガイモを収穫させて頂きありがとうございました。とても有意義な時間を過ごさせて頂きました。 ただ、梅雨とは思えない天候で13時からとなると危険な暑さであるなと感じました。夏場の収穫体験は午前中にする等時間の変更もありなのかなと感じました。
2	2 2025/6/28 14:39	その他(大学の先生からの紹介)	藤沢市以外(県内)	とても満足	定期的に参加したい		みなさん良い人ばかりで楽しく、普段あまり経験できないことをすることができました。他の参加者の方とお話しできたのも楽しかったですし、思ったよりもたくさんジャガイモがとれて驚きました。とても良い経験になりました。ありがとうございました。
3	3 2025/6/28 14:39	その他(大学の先生)	藤沢市以外(県内)	とても満足	不定期でタイミング が合えば参加したい	収穫した野菜などを使って料理をみんなで作ったりしてみたいと思いました。	今回初めて参加させていただいて、想像以上に参加者の方が多かったり収穫 もたくさんさせていただけて楽しかったです。
4	2025/6/28 14:36	その他(大学の先生からの紹介)	藤沢市以外(県内)	とても満足	不定期でタイミング が合えば参加したい	7	
5		その他(ユニバーサ ル農園)	藤沢市内	満足	定期的に参加したい		
6	S 2025/7/1 9:09	イベントチラシ	藤沢市内	とても満足	不定期でタイミング が合えば参加したい		3月の収穫イベントから参加しています。いつも収穫してばかりで申し訳ない気持ちもありつつ、子供たちと貴重な体験をさせて頂けること、気軽に参加でき農業を身近に考えることができることに感謝しております。 毎回子供たちと参加してます。この野菜はこんな色の花が咲くんだ!葉っぱの形が違うね!トマトは〇〇ちゃんより背が高いね!など、お店で並んでいる野菜とは違う姿をみて発見もあり収穫以外でも楽しんでました。3月に植樹した葡萄はまだまだということがわかり「みんな大きくなるスピードが違うけど、ちゃんと実る準備をしている」と学んだようです。年齢も性別も境遇も違う人達が1つの目的で集まって力を合わせて作業する、とても必要な場所だと思います。平日の作業にも時間を合わせて作ってみたいと思います。ありがとうございました。

田植え風景 (2025年6月17日)



ユニバーサル農園利用者による農作業

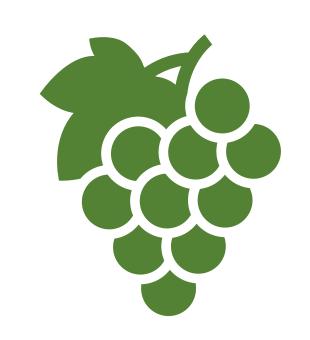


ユニバーサル農園利用者 による農作業



藤沢市農業水産課職員も参加した ブドウの収穫作業

ご清聴ありがとうございました





ノウフク連携推進!!